

特集

家庭ごみの処理量は、景気の低迷による消費の手控え、大型ごみの有料化や資源物収集の実施等を契機とする市民のごみ減量に対する意識の高まりにより、平成十年度からは減少に転じていましたが、平成十三年度からは、ほぼ横ばい傾向となっています。埋立地の延命化や地球温暖化等の環境問題に対応していくために今一度生活を見直して、より一層のごみ減量を推進していく必要があります。

平成十六年七月からスタート

古紙拠点回収リサイクル



札幌市では、町内会など地域住民団体による集団資源回収(※)を中心に古紙のリサイクルを進め、平成十六年には回収量が約五万五千トン(中央区は約五千七百トン)にまで達し、大きな成果をあげています。

しかし、集団資源回収は月一回程度の回収頻度であるため、「家庭内保管ができるスペースがない」「回収日を逃した」などへの対応策がありませんでした。

その結果、現在、ごみステーションに捨てられている再生可能な古紙は数万トンあると推定されています。

◆**設置場所** 中央区民センター北側(南二条西十丁目)。
◆**回収品目** 家庭から発生した新聞・雑誌・段ボール。(会社が営業上のサービスマンなどから回収した段ボールなどは除きます。)

そこで、ごみ減量・リサイクルを推進するために、集団資源回収を補完するものとして、古紙を自由に持ち込むことのできる「古紙回収ボックス」を各区役所(区民センター)に設置しました。

◆**回収品目** 家庭から発生した新聞・雑誌・段ボール。(会社が営業上のサービスマンなどから回収した段ボールなどは除きます。)

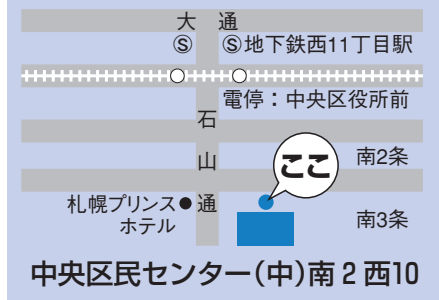
②古紙以外はませないでください。
また、併せて「古紙回収協力店」となっている民間の「古紙関係事業者」への持ち込みができます。

回収品目・出し方は回収ボックスと同じですが、利用時間は店によって異なりますので、下表を参照してください。
※**集団資源回収とは**：新聞などの資源を町内会やPTAなどが自主的に、地域の皆さんと話し合い、一定のルールで集めて業者に引き渡す活動です。市は実施団体として登録している団体に対し、資源の回収量一キロにつき二円の奨励金を交付しています。

古紙回収協力店(中央区)

会社名	住所	連絡先	利用時間	受け入れできない日
(株)稲葉札幌支店	中央区北9条西18丁目	621-0534	8:30~17:00	日・祝祭日、12月31日~1月3日
竹井商店	中央区北10条西19丁目35	631-0753	9:00~17:00	祝祭日、8月14日~16日、1月1日~5日
千葉みさを商店	中央区北2条西20丁目	613-9006	9:00~17:00	日曜日
(株)古山商店	中央区大通東9丁目1番地北向	231-5500	7:30~17:30	日曜日、8月13日~16日、12月31日~1月4日

古紙回収ボックス設置場所



▼中央区民センターにある回収ボックス



この「のほり」が目印!



▲ごみ減量のキャラクター